



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題	「全ての世界に出て行こう」(Go Ye Into all the World)	Poul Thomsen(デンマーク)
アジア会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」(Start Future Now)	岡野 泰和 (大阪土佐堀)
東日本区理事主題	「いざ立て」(Once more we stand)	渡辺 喜代美 (十勝)
東新部部長主題	「楽しく そして あたたく」	佐藤 茂美 (東京)
クラブ会長主題	「原点を見つめ、充実、飛躍、そして楽しもう！」	太田 勝人 (東京世田谷)

Let's enjoy our club life, back to the starting point!

会長 太田 勝人
副会長 岩崎 弘
書記 藤田 耕一

2014年5月会報

強調テーマ

* EF/JEF *

会計 寺門 文雄
直前会長 張替 滋夫
担当主事 山梨 雄一

† 今月の聖句

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。
彼らは剣を打ち直して鋤(すき)とし、槍(やり)
を打ち直して鎌(かま)とする。国は国に向って剣
を上げずもはや戦うことを学ばない。

イザヤ書 2 : 4

He will settle disputes among great nations,
and their spears into pruning knives.
Nations will never again go to war,
never prepare for battle again.

(小川圭一 選)

プログラム

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 司会 | 小川 圭一 君 |
| 1. 開会点鐘 | 太田 勝人 会長 |
| 2. ワイズソング&ワイズの信条 | 一 同 |
| 3. 今月の聖句朗読と感謝 | 富田 針次 君 |
| 4. ゲスト&ビジター紹介 | 太田 勝人 会長 |
| 5. 食前の祈り | 富田 針次 君 |
| 6. 会食 | |
| 7. 卓話 「憲法九条と集団的自衛権」 | |
| | 法政大学名誉教授 法学博士 永井 憲一 氏 |
| 8. ハッピーバースディ | なし |
| 結婚記念日 | なし |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 太田 勝人 会長 |

※ 5月例会プログラム

とき 5月16日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南センター 3階
電話 03-3420-5361

4月のデータ	会員在籍	11名	例会出席者	4/18日(金)	4月のBF	ニコニコファンド
	出席率	91%	会員	9名	切手 0g	4月 10,600円
			メネット	2名	現金 0円	年度計 93,564円
			メイキャップ	1名	累計切手 0g	JOCS累計
		ゲスト	4名	東日本災害支援へ寄付	使用済み切手と併せて	円
		ビジター	2名	累計: 円	注: JOCS 献金記録の掲載	
		合計	18名	東京世田谷ワイズメンズクラブは	すずらん会やコミュニティコ	
				2013年10月30日社団法人日本キリ	ンサートではかねてよりJOCSへ	
				スト教海外医療協力会に年会費5千	の応援を行っている。	
				円を納入し継続しました。	使用済み切手とワンコインの	
					献金など。	

※ 本日のメインプログラム

本日は憲法学者で世田谷区梅ヶ丘にお住まいの永井憲一法学博士をお招きして「憲法第9条と集団的自衛権について」の卓話を皆様と一緒に拝聴できる事です。

永井先生は毎月第3水曜日に開催の「ボランティアセンター歌の広場」（三軒茶屋）にお見えになり、童謡・唱歌を参加者と共に歌って健康を保っておられます。終わって昼食を何人かでご一緒しながら日本国の現状やこの国の行く末などを語りあえるのが「歌の世田谷クラブ」といわれる我々にとって楽しいワイズライフの一端であります。先生による卓話が今から楽しみです。

(太田 記)

<永井憲一氏 プロフィール>

1931年群馬県生まれ。

早稲田大学・大学院卒、法政大学名誉教授、法学博士。

日本スポーツ学会代表理事、世田谷ボランティアセンターを支える会会長。

主著に「憲法と教育基本権」(勁草書房)、「戦後政治と日本国憲法」(三省堂)、赤塚不二夫氏との共著で改定新版「日本国憲法なのだ！」など多数。

※ 第1例会報告



る日常」と題するお話しをうかがった。

高橋さんは平々凡々とした中学時代を送っていた13歳の時第一次インテファダと呼ばれる抵抗運動に翻弄される子供達のテレビ映像をみて強い衝撃を受けたこと、また一生のテーマを持つようにとの教えをうけたことが、パレスチナに向かう原点になった。バックパックで世界を廻り大学卒業後エジプトに留学、シャロン首相時代の第2次インテファダでは眼前で戦闘を体験した。19歳の時ファーゼム家に出会い重い現実をなんとか写真で伝えたいと願った。エジプト留学後どうすれば写真家になれるかと悩みつつ就職したが、2008年の空爆を見て決心、会社を辞め、8年ぶりにパレスチナに向かった。それ以来今日まで人々の激しい抗議・抵抗にもかかわらず入植地に高い分離壁が築かれパレスチナ人の追い出しが続く状況を現地の人々と生活を共にしつつ、写真を媒介にして世に問いかけてきた。家を破壊されたナセルさん、誤認逮捕で8年拘留されたムハンマドさん、コーヒー屋のアブアラーさん、俳優のカスールさん、それぞれに非日常の日常を懸命に生き抜いている人達に寄り添ってきた美香さんのまなざし、そして彼らのまなざし

パレスチナと日本を往還しながらそこに生きる人々の日々を伝え続けているフォトジャーナリスト高橋美香さんの「パレスチナ・そこにある

もまたいつも優しく温かい。

ネット社会の氾濫による疑似体験ばかりがはびこり実体験の重みが失われつつある今日、こうした高橋美香さんの生き方は現代人が回復すべき貴重な生き方のモデルなのではないか。2009年に様々の反対を押し切ってイスラエル賞を受けた小説家の村上春樹氏がその受賞演説で「もしここに硬い壁があり、そこにぶつかって割れる卵があったとしたら(どんな状況であれ)、私は常に卵の側に立ちます」と述べたことが想起される。高橋美香さんもまた、壁を挟んだ反対側ながら同じ卵の側に立って闘っているのは明らかだろう。強い共感をもってこれからも支援したいと思うのです。



(張替 記)

* 例会に参加してひとこと

東京YMCA南センター館長 沖 利柯さん

「今年の4月から南センターの館長となりました沖です。」とご挨拶をさせていただいたのは、懐かしい場所、懐かしい顔、懐かしい味の揃う居心地の良い空間でした。

20年前から8年近く南センターにいましたが、その時に大変お世話になった皆様が、当時と変わらずYMCAで例会を持ち、会話を楽しみながらも地域や世界に目を向けてお話をされている姿を拝見させていただき、本当に嬉しく思いました。これからも変わらずYMCAが地域で果たしていくべき課題にご一緒に取り組んでいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

篠 武彦さん

4月18日YMCAの世田谷支部の会合に初めて出席させていただきました。そして、その折の感想をという事で記します。

キリスト教と全く関係の無い生活をしている私にとっては、その精神に対する事では理解出来得る部分もあるのですが、それ等を表す文書の字句あるいは斉唱などには正直違和感を持ちました。その反面、フォトジャーナリストによるパレスチナの日々の悲惨さを中心とする問題提起、及び喚起には共鳴するところ大でした。

以上のような事がある部分では感じましたが、全体を通してみると、この会の懐の広さかなと感じています。

※ 第2例会報告

4/25 (金)「すずらん会」終了後、4時から太田会長、富田、小原、小川、寺門、張替、川嶋、岩崎、山梨、藤田の10名にて第2例会を開催した。

報告事項

1. ロースター名簿原稿を、各自確認のこと。
2. 「インベーション」・「出席率」・「会員増減」について4月末に報告提出。
3. 4/19 (土) 東新部第3回評議会が開催され、太田会長、張替、岩崎が参加。
4. 4/20 (日) 熱海グローリー30周年記念式典が開催され、太田会長、富田、小原、張替、岩崎が参加。253名参加し盛大な式典であった。
5. 4/21 (月) 東京YMCA 会員部運営委員会が開催され、小原委員長、太田会長、沖、山梨が参加。
5/24 (土) 13:30~16:30に会員大会が開催予定であり、参加ください。
6. 元Gardena Club: Jim Muellerさんの奥さん Audreyさんが4月に逝去され、太田会長からクラブを代表して弔意文を送付した。
7. 5/24(土)北沢タウンホールで「第7回戦争体験を語る会、聴く会」が富田さんの出演で開催予定。
8. 山梨さんからYMCA報告: ①4月から南センターの開館時間の変更、②6/30(月)会員芸術祭が開催され、13時~16時世田谷クラブが受付担当、③4月から新しいボランティアリーダーの募集を開始。

協議事項

1. 白金高輪クラブの堀井さんから7/5(土)玉川聖学院ホールにて午後2時開演でチャリティコンサートを開催するにあたり、世田谷クラブに協力要請があり、堀井さんから主旨その他を具体的に伺って検討することとした。
2. 世田谷クラブの副会長職については、今年度は置かず、次年度以降検討することとした。
3. 6月例会は東新部部会会場の下見を兼ねてライオン銀座7丁目店で開催すること、8月例会については納涼会とすることを検討することとした。
4. 10/11(土)開催の東新部部会について協議し、具体的な内容について別途検討することとした。
5. 6/7 東日本大会に山梨さんが担当主事として参加するにあたり、世田谷クラブとして10,000円補助することを協議し了解を得た。

(藤田 記)

※ 熱海グローリークラブ30周年に参加

4月20日(日)私の出身母体である熱海グローリーワイズメンズクラブの30周年記念例会が熱海後楽園ホテルで行われました。太田会長、富田、小原、張替、各ワイズと共に出席しました。

北海道からは渡辺東日本区理事、また、遙々台湾の台北アルファークラブからは15名のワイズメン、メネットが、斎藤熱海市長、橋本県会議員、地元のロータリークラブ会長、ライオンズクラブ会長など多数の来賓をはじめとして、総勢253名という盛大なイベントでした。

式典は13時から加藤会長の開会点鐘で始まり市長、県議の祝辞があり式はプログラムにそってすすみました。



祝賀会に移り、勇壮な富岳太鼓の演奏から始まり、30周年実行副委員長である勝又ワイズの歓迎の挨拶のあと、台北アルファークラブの李会長、DBCを結んでいる和歌山紀の川クラブ生駒会長、名古屋クラブ川口会長、竹内熱海YMCA 理事長の祝辞がありました。青木富士山部部長の乾杯の音頭で会食・懇談に津軽三味線の演奏、民謡があり大いに盛り上がりました。出席クラブの紹介があつてのち、YMCA高橋委員長から献金の報告と謝辞・贈呈があり5時間にわたる行事は竹内30周年実行委員長の閉会の挨拶で締めくくられました。

(岩崎 記)

※ 東新部第3回評議会に参加して

さる4/19(土)13時~17時まで東京YMCA視聴覚室にて開催された第3回評議会に参加して参りました。世田谷クラブからは張替次期部書記、岩崎次期クラブ会長と太田が出席しました。

佐藤部長から部長報告、「世田谷クラブ後半の活動報告」を太田が行いました。

第2回評議会の議事録の確認はじめ6項目の審議事項説明の中で次期部長として「部長主題、方針、事業計画、予算案」並びに「部役員・クラブ役員体制」を説明した。併せて張替次期部会実行委員長より「第18回東新部部会—世界に平和、心に歌声を」の内容を説明し、各クラブ会長には責任を持って所属するクラブ会員を全員参加できるよう強く要請して説明を締めくくった。

活発な質疑応答の後、6議案は原案通り「承認」された。なお、その中で櫻井LT委員長を中心に見直してきた「部則」は内容と文体両面で最新版となったことを特筆いたします。

審議終了後、田中次期東日本区理事より「主題、方針、計画」の説明を頂き、最後に持田、権藤両監事から講評を頂きました。

- ① 東新部は、会員を増やすよう皆で協力しあうこと。
- ② 本日発表された内容は良い内容であるが是非実行を伴ってほしいなどの講評でした。

私は評議会に参加して益々次期部長として責任感が高まると共に、次期書記・会計のお力を借りて世田谷クラブの名に恥じないよう努めますので、何卒宜しくご協力、ご支援のほどお願い申し上げます。

(太田 記)

✽ 国際通信

Audrey・Mueller 夫人は病をへて程なくし、2014年4月5日に亡くなりました。ご家族が彼女の最後の2日間ベッドの横で見守る中で天に召されました。

オードリーはシュミット夫妻を両親とし1927年2月23日に誕生、ミズーリ州セントルイスの郊外で育ちました。当地で将来の夫、生涯の伴侶となるジェームズ・ミュラーに出会いました。彼女が5歳、彼が6歳の時でした。夫妻は1947年に結婚し、1948年に女の赤ちゃんと共にカリフォルニアへ転居しました。他の3人の男の子は皆西海岸で生まれ、オードリーは素晴らしく愛すべき母親かつ家庭の主婦でした。彼女は夫のジムと共に生涯にわたり地域社会への貢献をなし、Yサービス・グループをはじめレジャー・ワールド・コミュニティ教会を含む幾多の団体の会員でした。最近アメリカ327補助大隊によりウーマン・オブ・ザ・イヤーに称されたばかりでした。彼女は熱心な読書家であり地域の図書館へよく通ったものです。

また Jim と共に世界中を旅行し多くの友人を得ました。残された家族は4人の子供と1人の兄弟、9人の孫と8人のひ孫です。Jim と Audrey は常に共にありましたが、今また彼ら是一緒となり、家族は安堵しています。私たちは彼らを懐かしく思いませんが、その記憶は喜ばしくまた豊かなものです。

✽ 会長通信 1405

今月の強調テーマはEFとJEFです。

EFはEndowment Fundのことで国際ワイズダム発展のための特別基金です。個人・クラブが記念すべき出来事、行事などのおり寄付金を国際協会に送金し積み立てて、ワイズダム発展のために用いられます。

JEFはJapan East Y's Men's Fundのことで東日本区ワイズ基金です。EFと同じく個人・クラブからの寄付金が基になって東日本区ワイズ運動を支えることに用いられます。

寄付に対する文化が希薄な日本の現状ですが、今迄での価値観から広く「ワイズダム発展のために」お役に立つ意識を日頃から思いめぐらせて、「公の精神」を伸ばすよう心の広さ、深さを求めたいものだ、と考えます。

宜しくご理解のほどお願い致します。

(太田 記)

卓話予告

7月 : 佐伯京子さん

(世田谷ウォーキングフォーラム代表)

* 今後のスケジュール

5/9 (金) 下北沢すずらん会

5/21 (水) ボラセン「歌の広場」三茶

5/23 (金) YMC Aすずらん会
第2例会

5/24 (土) 在京ワイズ会長会 10時～
YMC A会員大会 13時～
東陽町Yにて

第7回「戦争経験を聴く会、語る会」

日時: 5/24 13:30～16:30

場所: 北沢タウンホール2F 集会室 参加費無料

主催: 「北沢川文化遺産保存の会」会長 長井邦雄

後援: 北沢3, 4丁目まちづくり協議会

青森県の天内みどりさんと富田さんが
戦争体験を講演します。

5/31 (土) 東新部引継ぎ会 13時～
東陽町Yにて

6/7 (土) 東日本区大会一浅草にて

6/13 (金) 下北沢すずらん会

6/17 (火) YMC A活動委員会

6/18 (水) ボラセン「歌の広場」三茶

6/20 (金) 第1例会

6/27 (金) YMC Aすずらん会
第2例会

✽ YMCA NEWS

南センターでは、幼児、小学生、中高生の定例野外活動がスタートを致しました。特に今年度は、幼児から小学生への継続数が多く、初回の「冒険クラブ(小学生対象)」は45名の子ども達が参加をし、平和の森公園にてフィールドアスレチックに挑戦をして参りました。天気にも恵まれ、子ども達の健やかな笑顔に包まれた一日となりました。またボランティアリーダーも5名の若者が新たに仲間として加わりました。サマーキャンプの準備も進んでおります。今夏は12のプログラムが予定をされており、多くの方のご参加をお待ちしております。

<南センタースケジュール>

5月2日～5月4日 東京 YMCA ディレクタートレーニング (山中湖センター)

5月4日～5月6日 プレキャンプ (山中湖センター)

5月11日(日) 定例野外活動あおぞら(経堂・幼児)

5月18日(日) 定例野外活動おひさま

(田園調布・幼児)

5月19日(月) サマーキャンプリーダー

キックオフミーティング

5月24日(土) 会員大会 (東陽町センター)

5月25日(日) 定例野外活動冒険クラブ

(二子玉川・小学生)

5月25日(日) 定例野外活動アドベンチャークラブ

(二子玉川・ユース)

6月3日(火) 10時～ サマーキャンプ申込受付

(プログラム在籍者)

6月5日(木) 10時～ サマーキャンプ申込受付

(一般)

南センター開館時間変更のお知らせ

月・金曜日 10時～15時

火～木曜日 10時～18時

土日/祝祭日:休館